

ダイヤモンド・ランキング

1、ワークショップの目的

このワークショップは、右に書いてあるAからIの例文の重要度を考えて、重要だと思ふ順番に図の丸の中に並べていくというものです。

本来、右の例文の重要度にランクをつけることなどできないのですが、個人の考え方や価値観によってどれがどれより重要かという価値のランクをつけることはできます。従って、このワークショップには正解というものはありません。自分の考えをはっきりさせ、それを他の人に伝え、他の人とのやりとりを通して他の人の意見や見方に気づき、それを受け容れ、合意点をさがすことなどを体験するのが目的なのです。

2、ワークショップの方法

まず、6人前後のグループになります。

まず自分一人で、右側の9つの文のうちもっとも重要（意味がある）と思うものから順に記号を に記入し、一番上が一番重要、一番下が一番重要でない、というようにランキングをつけます。横の欄には、自分が一番重要だと思った理由と、一番重要でないと思った理由を簡単に書きます。

次にグループで話し合っ、グループとしてのランキングをつけ、各自のプリントの に記入します。ここが個人の考え方や価値観がぶつかりあうところです。グループで話し合っ合意点を見つけてください。合意できなかったところは空欄とします。

その際、必ず全員の意見を聞き、グループとしてなぜそう判断したのかをはっきりさせましょう。そして、各自のプリントの横の欄にグループで一番重要だと判断した理由と、一番重要でないと判断した理由を簡単に書き、配られた発表用の紙にも記入します。

できあがったら、自分のランキングとどう違うか、自分のプリントを見せ合います。そして、自分の考えと他の人の考えの違い、どのように合意に至ったか、などを話し合います。グループで合意できなかったのはどこか、それはなぜか、なども話し合います。

自分のグループの話し合いの結果を全体に発表します。そのとき、他のグループの発表について、感想や気付いたことなどを項目7のところを書いてください。時間があれば、他のグループの発表を聞いてどう思ったかなどを全体で話し合しましょう。

プリントの感想の欄に記入して、提出します。

3、エネルギー問題についての次のA～Iの文章群でダイヤモンド・ランキングをやってみよう。

A: 太陽光や風力など自然エネルギーの技術を開発 改良する研究に国や自治体が予算を増やす。

B: 家や学校で、みんなで節電の方法や水道・紙などの資源の節約の仕方について話し合う

C: 自分の家に、太陽電池や風力発電機などを取り付ける。

D: 家や学校などで、電気や水道・紙など資源の無駄遣いをチェックし、違反者にはペナルティーを課す。

E: 資源やエネルギーを無駄遣いしている品物やサービスには消費税などのような税金を重くする。

F: 何が省エネか、どうすれば資源を節約できるか、自分でよく学習する。

G: 省エネや資源の節約が、人類にとって必要なことを、学校で教えたり、テレビのCMなどでアピールする。

H: 学校など公共施設では、太陽光発電や、風力発電などを積極的に取り入れる。

I: 自分が買い物をするときには、割高でも原料リサイクル製品や、省エネタイプのものを買う



5、自分が考えたランキング

一番重要だと思った理由

一番重要でないと思った理由

6、グループで考えたランキング

一番重要だと判断した理由

一番重要でないと判断した理由

7、他のグループの発表を聞いて、自分のグループとの違い、気付いたこと etc.

グループの発表 発表者[]

グループの発表 発表者[]

グループの発表 発表者[]

グループの発表 発表者[]

グループの発表 発表者[]

グループの発表 発表者[]

自分のグループのメンバー

[][][]
[][]

組 番 氏名

8、自分が考えたランキングと、グループで考えたランキングはどこが違っていたでしょうか。それはどんな考え方の違いからそうなったのでしょうか。

9、このワークショップによって、気がついたこと、自分にとって良かったこと、自分に足りないものは何か、他の人から学んだこと、感じたことなどがあったら書いてください。

組 番 氏名
